

# 学びの広場

2020  
9月号

問 教育課 学校教育係 ☎(83)7023  
生涯学習係 ☎(83)7021

## 夏だ!「寺子屋まつだ」夏休みの巻

教育委員会では、今年も夏休み中に子どもの豊かな学びを支援する「寺子屋まつだ」を開校しました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の夏休みが16日間と短かったですが、参加した子どもたちにとって思い出に残る一コマとなりました。

### 8/1(土) 夏休みわくわく体験!!「自分ニュース」をつくろう!

テレビ朝日のニュースステーションなどの制作に携わった同広報局の上野敦史さんをお招きして、町民文化センターでテレ朝「出前講座」を開催しました。

DVDで「ニュースができるまで」を視聴したあと、「チンパンジーの赤ちゃん」のニュース原稿を使って読みの練習をしました。子どもたちは、時間内で原稿を読むことの難しさを感じながらもアウンサーになったつもりで楽しそうに読んでいました。そしていよいよ「自分ニュース」づくりです。放送原稿は、「リード↓現在↓過去↓未来」の順に書くといよこと、聞き間違いやすい言葉は使わないことなどを学びました。放送原稿を書くのは初めてのことでしたが、自粛中

の生活や中学校の部活動のこと、兄弟姉妹のことなどをテーマに原稿を書き、アウンサーになって発表しました。参加した21人の小中学生は、ニュースができるまでには、記者やカメラマン、編集マン、アウンサーなど多くの専門的な技術を持った人の協力によって、つくられていることを体験を通して学ぶことが出来ました。



講師の上野敦史さん

### 8/6(木) 「ピカピカどろだんご」の出来上がり

参加した9人の子どもたちは、どろの感触を味わいながら、ていねいにていねいに丸くしていきました。ピカピカになるには3時間余りかかるので、お楽しみは家に帰ってからとなりました。



丸くしていきます

さら粉をつけます

どろだんご

### ピカピカどろだんごの作り方

- ①どろだんごの芯をつくる
  - ・芯用土が入ったビニル袋に水を入れてこねる。
  - ・粘土板に土を出して練っていく。
  - ・土をだんごにして両手の中でころころと転がし、丸くしていく。
- ②さら粉を周りにつける
  - ・新聞紙の上に「さら粉」を出してどろだんごにつけ、全体に薄く均等にまぶす。
  - ・これを合計5回繰り返す。
- ③ピカピカに仕上げる
  - ・色粉をついたら30分程度おき、5分程度、だんごを左右に軽く転がす。
  - ・5分程度、手のひらで円を描くようにして、だんごを転がす。これを3回繰り返して出来上がり。

### 8/8(土) 子どものお祭り「子ども夏フェス」

今年の夏は多くの自治体で夏のイベントが中止になりました。そんな中、寺子屋まつでは、町民文化センターで「子ども夏フェス」を開催しました。

子どもたちや青少年指導員さんが準備した「バルーンアート」や「お菓子作り」、「輪投げ」、「射的」、「当てくじ」のお店の前は、子どもたちの笑顔でいっぱいになりました。



当てくじ

バルーンアート

### 松田 文化財探訪

### 続・町指定文化財とその周辺 その13

先史・古代の遺跡や遺物(八)

①からさわ瓦窯跡②

瓦づくりの技術が日本に伝わったのは588年だとされています。この前年、崇徳天皇が即位して物部氏を倒した蘇我氏は、寺院造営のための技術者派遣を朝鮮半島の百濟に依頼します。その結果、技術者などが渡来するのですが、その中に4名の「瓦博士」もいたのです。蘇我氏が彼らの力を借りて建立したのが日本最古の寺院「飛鳥寺(法興寺)」です。



出土した瓦 ~町民文化センターに展示~

の象徴となったのです。さて、千代廃寺には「からさわ瓦窯」の瓦が使われたと前回述べました。千代廃寺を建立した豪族とその屋根瓦を製作した人々とはどの様な関係があったのでしょうか。

古墳時代後期、足柄平野一帯を支配した師長国造の根拠地は、多くの古墳が存在する酒匂川西岸にありました。ところが

7世紀以降に大磯丘陵代台地であったと思われる。だから、その地に千代廃寺を建てたのです。実は、松田町の「からさわ横穴墓群・かなんざわ横穴墓群」の被葬者はこの勢力の一員だと思われれます。そして、この集団こそが「からさわ瓦窯」を造った人々なのです。

なお最近では、当瓦窯の製品が吹切遺跡(大磯町)・国分寺(海老名市)などの古代寺院にも供給されていたことが明らかになっています。

文化財保護委員 鈴木 一行